運営委員会だより　倉林　順一

◆　「私たちはあなた方を注視している！」

9月末、ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」に、スウェーデンの16歳、グレタ・トゥーンベリさんが出席し、各国の首脳らを前にこう語り始めた。温暖化対策の具体策を示さない政治家に対する糾弾の言葉に容赦はない。「苦しんでいる人たちがいる。死に瀕している人たちがいる。生態系全体が破壊されている。大規模な絶滅が始まろうとしているのに、話すのは、お金のことばかり。永遠の経済成長というおとぎ話ばかり。How dare you！」「よくもそんなことができますね！」と声を震わせながら訴える。首脳たちはどんな顔で聴いていたのだろう。

このニュースを見るまで私はグレタさんのことを全く知らなかった。さっそくインターネットで彼女のことを調べた。

◆ たった一人で始めた学校ストライキ

グレタさんは総選挙を目前に控えた昨年の夏、「気候のための学校ストライキ」と書かれたプラカードを掲げてストックホルムの国会議事堂前に座り込んだ。そしてその後も毎週金曜日、学校を休んで温室効果ガスの削減を求めて抗議を続けた。この運動がSNSを通じて拡散。ヨーロッパ各地、オーストラリア、カナダで若者らが金曜日に授業ストライキを始めた。今年3月15日のストライキは130カ国以上、2千カ所以上に広がった。たった一人で始めたグレタさんの活動は世界中の若者を巻き込んだ運動になった。

◆ 大人の反応は！

国連でのスピーチを受けてトランプ大統領は「明るくて素晴らしい未来を楽しみにしている、とても幸せな少女のようだ」とツイートして多くの市民から「侮蔑的だ」との批判を受けた。プーチン大統領も「世界が複雑であることを誰も彼女に教えなかった」と評した。わが国でも肯定的な反応に負けない勢いで「対人恐怖症と妄想が同居している」（高須克弥医師）、「16歳の考えに世界が振り回されたらダメだ」（橋下徹・元大阪市長）、「利用されている・支援組織がある」（多数）などの批判、中傷、揶揄、懐疑の声が飛び交っている。

◆ 若者の発言と行動に未来を託そう

自らをアスペルガーと告白しているグレタさんは「私にとってこれ（地球温暖化）は白か黒かの問題です。生き残りの問題となればグレーな部分はありません」と言い、対立を避けるための遠まわしな表現は用いない。しかし科学的な知識は正確で豊かだ。プーチン大統領が言うように複雑な事情はあろうが、政治家は彼女の声に正面から向き合って正々堂々と議論すべきだ。若者が、身につけた知識の上に立ち、批判を恐れず時には命をかけて、自分たちの世界を守り豊かなものにしようと発言し行動する姿には希望が見える。彼らに未来を託そう。

今後の主な予定

11月　1日（金）13時～	スダジイ楽書会（フォーラム）
11月　8日（金）14時30分～	原発と自然エネルギー研究部会（フォーラム）
11月　9日（土）11時～	3色パステル画寺子屋（フォーラム）
11月15日（金）13時～	スダジイ楽書会（フォーラム）
11月23日（土）14時～	近現代史ゼミ（前橋市総合福祉会館）
12月　6日（金）13時～	スダジイ楽書会（フォーラム）
18時～	わいわいフォーラム（詳細は問い合わせてください）
12月13日（金）14時30分～	原発と自然エネルギー研究部会（フォーラム）
12月14日（土）11時～	3色パステル画寺子屋（フォーラム）
12月20日（金）13時～	スダジイ楽書会（フォーラム）

育ちと学び　No. 42　　ぐんま教育文化フォーラム
2019年10月25日　発行
〒371-0026　前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F
[TEL・FAX] 027-235-8876　[IP電話] 050-3419-3803
[E-mail] g-kyoken@nifty.com
[URL] http://gkb-forum.sakura.ne.jp

スマホからホームページへ